

地域と共に歩み、グローバルビジネスを展開

いわき市から車載情報機器のグローバルビジネスを展開するアルパイン。

開発・生産等を担う関係会社6社を有し、いわき市の人口約33万人のうち1万人がアルパイン関係の従業員や家族。

地域の支えを受けてグローバルビジネスをコントロールするいわき本社には年間約5万人の人々が訪れるなど

様々なイベントを通して地域とつながり、地域と共に歩んでいる。

2014年度からは、東北地方に特化した採用活動にも注力。

事業背景

アルプス電気のアルパイン前身事業部がいわき市にあったことがきっかけで1969年、当時横浜にあった事業所を移転し、いわき事業所を開設。生活環境もよく、製造業として生産・開発・営業・管理を集約する上での用地確保がしやすかったため、一事業所から本社へ。いわき市が車社会で、製品が従業員の生活と結びついていることも一要因。

技術者の採用背景

- 車関連の研究をしている大学へ個別訪問、OB／OGとの個別面談で技術者を募集。
- 従業員の声を学生へ伝える機会を多く設定。（会社説明会に従業員が多く参加）
- 企業の魅力・技術力・グローバルビジネス（海外拠点展開）をアピール。
- 福利厚生充実。
- 転職者でも働きやすい環境整備。
- 生活環境が良く、子育てしやすい地域であることをアピール。
- 東北6県内の大学にて会社説明会を実施。
- 2012年、会津大学と東日本大震災からの復興支援のため学術、産業振興、人材育成分野で連携・協力していく連携協力基本協定を締結。

地域振興活動

■いわき市との連携を更に深め、地域活性化施策も検討中

いわき市に根差す企業として、地元のまちづくりの活性化につなげるため具体的な施策を検討中。様々な施策を通して、地元企業として地域復興に貢献していく。

■地元の雇用拡大へ貢献

本社がある福島県をはじめ東北6県の学生を対象とした新卒会社説明会を2014年度から積極的に行っている。部長レベルの社員が、東北6県にある大学を訪問し、会社説明会を実施。新入社員全体に占める東北地方からの学生の割合は3年前に比べて20%増加し現在では半数を超えている。

■震災復興のためのNPO設立

2012年、いわき市と連携して、問題から市民生活の安心・安全を確保するためのNPO活動「いわき環境システム」を設立。東日本大震災及び、福島第一原子力発電所における事故で被災した地域の環境回復、風評被害の払拭、経済的復興のために、いわき市において放射線量のモニタリングを行い、測定した数値を定期的に公表。また参加企業毎にモニタリングリーダーを育成し、現状の把握や基礎知識の習得、さらには測定について実習を行うなどノウハウを地域に展開している。

■アルパイン夏祭り

年に一度、社員とその家族、地域の方を招き夏祭りを本社駐車場で開催。2015年度は、約7,000名が来場した。花火大会やよさこいコンテストをはじめ、地域の子供を対象にした「ものづくり教室」や「会社見学会」も同時開催し、子供からお年寄りまで楽しんでいただく夏の風物詩として親しまれている。



アルパイン株式会社 コーポレート・コミュニケーション課 <http://www.alpine.com/j/>

〒141-8501 東京都品川区西五反田1-1-8 Tel.03-3494-1101(代表) Fax.03-3494-1109